

第68回国民体育大会スポーツ祭東京2013ハンドボール競技

競技日	10月5日(土)	試合番号	A-12	準々決勝
種別	成年男子	会場	墨田区総合体育館	

試合結果・戦評報告

Aチーム名			Bチーム名		
埼玉県			三重県		
得点合計	小計		小計	得点合計	
35	15	前半	7	21	
	20	後半	14		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7MTC			

戦評

ベスト4一番乗りをかけた第一試合は、前回王者・埼玉と東海の雄・三重が激突する大会屈指の好カード。

三重11番野嶋がステップを突き刺し先制するが、埼玉は4番信太がステップ、カットインの2連続得点を決めてすぐさま逆転に成功する。その後、序盤は一進一退の攻防が繰り広げられたが、大型選手の並ぶ埼玉が堅守からの素早い攻めで得点を積み重ね、徐々に試合を支配し始める。3番小澤のサイド、6番豊田の速攻など一挙5連取し、埼玉は15分過ぎには9-3と大きくリードを奪う。三重も11番野嶋のミドルで息を吹き返し、6番竹田のミドル、8番伊藤の連続PTの4連取でスコア7-10まで追い上げると、手に汗握る展開に声援を送る観客席のボルテージは最高潮に達する。終盤、試合巧者埼玉がタイムアウトで態勢を立て直し、そこから怒涛の5連取で粘る三重を突き放し、15-7で前半を終える。

後半は埼玉3番小澤のサイドシュートを、三重1番大畑が豪快にセーブし幕を開ける。反撃を試みたい三重は、3番瀬元のミドル、9番高見のサイドなどで得点を挙げるが、8番伊藤のPTが埼玉1番木村にストップされるなど勢いに乗り切れない。対する埼玉は10番小室のサイド、8番東長濱のPTなどで着実に加点し三重との点差を広げていく。折り返しの15分過ぎには24-13と埼玉リード。攻撃の手を緩めない埼玉は2番時村の速攻、3番小澤のカットインなどでさらに得点を重ね、最終的に35-21のスコアでタイムアップを迎えた。勝った埼玉はベスト4一番乗り。同日行われる福井×広島勝者と準決勝で対戦する。

送信日時	10月 5日(土)	11:30	送信者名	墨田会場
------	-----------	-------	------	------